

## ベトナム製薬業界、EU-GMP 工場投資で競争力向上

2025 年 2 月 27 日 作成

カテゴリ ベトナム市場調査 医薬品・ヘルスケア

### ベトナム製薬業界、EU-GMP 工場投資で競争力向上

ベトナムの製薬業界は、2030 年までに国内製造の医薬品で 80% の需要を満たし、2045 年には GDP に 200 億ドル以上を貢献することを目標としている。2024 年には国会が医薬品法を改正し、3000 億ドン以上の新規投資プロジェクトに特別な優遇措置を適用する方針を打ち出した。この措置により、国内製造の医薬品が優遇され、技術移転の促進、法人税の軽減、未生産原材料の輸入税削減などが進められる。また、公共調達においては、国内で 3 社以上が EU-GMP 基準を満たす医薬品が優先される。

この政策により、ベトナムの製薬企業は品質向上に向けた投資を加速させている。Traphaco は EU-GMP 基準の高品質医薬品工場を 2025 年末から 2026 年初めにかけて建設予定である。Imexpharm (IMP) は、ドンタップ省に EU-GMP 基準の新工場を設立し、年間 14 億製品の生産を目指している。IMP はすでに 12 の EU-GMP 認定生産ラインを保有し、シンガポール、マレーシア、フィリピン、香港などに輸出しており、欧州市場への展開も視野に入れている。

さらに、Cuu Long 製薬は 1396 億ドンを投じて、EU-GMP 基準のがん治療薬工場を 2025 年 6 月に着工し、2028 年から生産を開始する計画である。他の企業も同様に、数百億から数千億ドン規模の投資を進め、国際基準を満たす医薬品の生産を強化している。

EU-GMP 認定工場への投資拡大は、ベトナム製薬業界の国際競争力を高め、国内市場の需要を満たすだけでなく、輸出の拡大にも寄与する。高品質な医薬品は収益性が高く、特に病院向け (ETC) や薬局販売 (OTC) の分野で優位性を持つ。2020 年以降、EU-GMP や Japan-GMP 基準の認定工場が増加し、2024 年 10 月時点でベトナムには EU-GMP または同等の基準を満たす 19 の工場が存在する。

ベトナム政府の政策と企業の積極的な投資により、製薬業界は急成長を遂げており、高品質な医薬品の生産と輸出拡大が進むと予測されている。

以上